

# 士別市農業・農村活性化審議会

日 時：令和6年2月20日（火）  
13：30～

場 所：士別市役所 委員会室・説明員室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 題

①令和5年度士別市農業奨励賞選考結果の報告（資料1）

②令和5年度農林業振興対策事業の主な事業実績と評価（資料2）

③令和6年度農林業振興対策事業の予算概要（資料3）

4. その他

## 令和5年度 士別市農業奨励賞選考結果の報告

○選考委員会開催日：令和6年2月9日（金）

○選考委員：北ひびき農業協同組合、上川農業改良普及センター士別支所

北海道農業共済組合道央統括センター上川北支所、士別市農業委員会

No.	氏名	年齢	地域	経営概要	推薦理由
1	谷 寿彰	41	多寄	<b>【畑作+露地野菜】</b> 南瓜 9.7ha 大豆 6.7ha 水稲 6.1ha トマト 0.7ha アスパラ 2.0ha 地力作物 2.0ha 面積合計 27.2ha	平成24年よりトマトの6次産業化に取り組み、有機トマトジュース「クリア」を開発し、令和3年度北海道加工食品コンクールにて「知事賞」、令和4年度優良ふるさと食品中央コンクール新製品開発部門にて最高賞の「農林水産大臣賞」を受賞した。 また、第9回ディスカバー農山漁村の「宝」に選定され、6次産業化の取り組みや若者中心のインターンシップの受入れが評価されている。 JA 青年部多寄支部支部長も歴任し、地域での活動においては、多寄町スポーツ協会役員、郷土芸能「日向神代神楽」愛好会に所属し伝統文化の継承に尽力している。

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	主な取り組み《令和6年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業評価	備考 (主な関連事業)	
人づくり	1 担い手の確保・育成	① 新規就農者確保のための情報発信	①地域おこし協力隊制度を活用した農業研修者の募集 ・ 地域おこし協力隊(農業支援員(耕種・酪農)めん羊飼育)の募集活動を実施 就農相談会への参加(札幌3回、東京1回)、Web求人広告の掲載(8週間×2回) ・ 募集パンフレットを改定し、市や農業公社のホームページにおいて情報発信	地域おこし協力隊(耕種)の応募状況が低調であることから、効果的な就農相談会の参加や募集パンフレットの見直し等を適宜行っていく。	A	・農業・農村担い手支援事業
			②就農相談会への参加や道内大学、農業公社等への訪問によるPR活動 ・ 就農相談会へ参加(札幌3回、東京1回) ・ 北海道立農業大学校キャリアサポートへ参加(1回) ・ 農業公社へ訪問しPR活動を実施(1回)	就農相談会を契機に、羊飼養の応募があったことから引き続き積極的にPR活動を行っていく。	A	
			③市ホームページ等を活用した、農業研修者の受入や活動状況、士別市農業の魅力等の情報発信 ・ 農業研修者や受入地区の紹介を市ホームページで情報発信 ・ 農業研修者の月間活動状況や年間研修結果報告を市ホームページで情報発信	引き続き市ホームページ等を活用し、農業研修者の受入や活動状況等を情報発信する。	A	
			④関係機関等への研修活動状況の情報発信 ・ 研修活動状況をJA、農業改良普及センター、農業委員等の関係機関へ情報発信	引き続き関係機関等へ研修活動状況を情報発信する。	A	
	② 農業研修者の受け入れと就農後の経営安定化	①農業研修者の受け入れ ・ 地域おこし協力隊(耕種)2名受入(上士別地区1名、朝日地区1名)	引き続き士別市担い手支援協議会や各地区の受入農家協議会と連携を図り、農業研修者の受け入れに取り組む。	A	・農業・農村担い手支援事業 ・農業次世代人材投資事業	
		②農業研修者の農業技術の習得状況等を関係機関と連携し定期的に確認 ・ JA、農業改良普及センターと連携し、農業研修者及び主たる受入農家と定期面談を実施	農業研修者が作成する活動月報について、農業技術の習得状況等をより具体的に把握できるよう様式を見直す必要がある。	A		
		③農業者等との地区別意見交換会の開催 ・ 令和5年度は地区別意見交換会の開催がなかった。 (受入農家協議会の情報については、ホームページに掲載済)	今後も地区別意見交換会が開催された際に、新たな地区で受入農家協議会の設立要望があった際には関係機関と協力し支援する。	C		
		④独立就農に向けた就農計画作成等の支援 ・ 冬期学習会において、農業研修者等に対して就農計画作成に繋がる研修を実施	引き続き独立就農を目指す農業研修者がいる場合、就農計画の作成等を支援する。	A		
		⑤国の事業(農業次世代人材投資事業等)や各種資金の活用支援 ・ 経営発展支援事業(機械・施設等の導入支援) 対象件数 1件 ・ 次世代人材投資資金(経営開始時の資金支援) 対象件数 7件	引き続き就農直後の経営安定化を図るため、国の事業や各種資金の活用等を支援する。	A		
		⑥士別市農業農村担い手支援規則に基づく支援 ・ 規則に基づく各種支援を実施	引き続き農業の担い手の確保と育成を図るため、農業・農村担い手支援規則に基づき支援する。	A		
③ 農業者青年層のパートナー確保に向けた取り組み	①関係機関と連携し出会いの場を創出 ・ 令和5年9月2日・3日に市内で1泊2日にて開催。(男性8名、女性13名) ・ 4組がマッチング。	男性参加者と女性参加者の人数差が大きかったため男女比を揃えた開催を図る。	A	・グリーンパートナー推進事業		
2 労働力の確保	① 労働力確保・支援に向けた取り組み	①農業者等との意見交換会の開催 ・ 目標地図の素案作成に向け、農業者との意見交換会を実施(R5.10月～12月実施)	引き続き、情報交換に努める。	A		
		②関係機関と連携した農業労働力の確保対策の検討 ・ JA北ひびきとコントラクター協議会設立に関する情報交換を行った。	動向に注視する中、引き続き関係機関と連携を図っていく。	A		
		③大和牧場の効率的な運営などの検討 ・ 給水設備機能回復に向けた水源枯渇状況調査の実施(委託事業) ・ 上記調査を基にした給水施設整備、通水確認等の実施	引き続き効率的・効果的な運営体制の整備に向けた取組を推進する。	A		
		④酪農ヘルパー運営組織との連携 ・ 北ひびき酪農ヘルパー利用組合への事業費助成	引き続き経営基盤の安定に向けた取組を推進する。	A		

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	主な取り組み《令和6年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業評価	備考 (主な関連事業)		
人づくり	3 多様で安定的な経営体の育成	① 経営の多様化・担い手への農地集積・集約化 ・6次産品等の販売・PRの推進を図ります。 ・人・農地プラン等に基づき、担い手への農地流動化を円滑に進めます。 ・優良農地の確保と計画的な土地利用を推進します。	①農畜産物や加工品等のPRのため、士別市産直マップの作成や市ホームページの活用、通年販売に向けて「まちなか交流プラザ」などと連携 ・ 令和5年度版産直マップを作成し、市ホームページでの公表や各出張所などに配置した。 ②地域での話し合いに基づいた人・農地プランの見直し ・ 目標地図の素案作成に向け、農業者との意見交換会を実施(R5.10月～12月実施) ③農業振興地域整備計画等の適切な運用 ・ 申出があった用途変更や除外について、適切な処理を行った。	引き続き、産直マップを作成し、加工品等のPRを行っていく。 基盤法等の改正に伴い、令和7年3月までに人・農地プランから地域計画に移行しなければならないことから、次年度はより具体的な協議を行っていく。 引き続き適切な処理を行っていく。	A A A		
		1 農業・農村の有する多面的機能の維持	① 農業等の共同取り組みの推進 ・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金等を活用し、各地区の集落や活動組織が主体的に取り組む農地の保全管理や環境形成活動等の共同取り組みを推進します。	①中山間対象農地の耕作放棄の防止等を図るため、士別市集落及びあさひ集落の共同取り組みを支援 ・ 中山間農業・農村活性化事業の実施 ・ 農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための活動の実施 ・ 水路、農道等の維持・管理等集落の共同取組活動の実施 ・ 農用地の維持・管理活動の実施 ・ 対象農用地総面積 3,034ha ・ 交付総額 215,844千円 ②多面的機能支払交付金を活用し地域資源の保全を図るため、各地域の活動組織への支援 ・ 対象農用地総面積 10,540ha ・ 交付総額 224,864千円	集落で行われている共同取り組み活動について、引き続き支援を行う。 いずれの活動組織も遊休農地発生防止のため、水路、農道、法面の草刈など、農地の保全管理や環境形成活動を実施している。	A A	・中山間地域等直接支払交付金事業 ・多面的機能支払事業
			2 経営改善の取り組み	① GAP(農業生産工程管理)の推進 ・生産管理の「見える化」を進め、効率性や農作業時の安全性等に繋がる基本的なGAPへの理解度向上に向けた取り組みを推進します。	①関係機関と連携したGAP基本講座の開催や周知 ・ 令和5年7月20日 剣淵町、和寒町と連携し、上川農業改良普及センター職員を講師に招き、各市町で研修会の実施 士別会場は13名参加 ・ R4年度から環境保全型農業直接支援対策事業においてGAPの取り組みに変わり新たに「みどりのチェックシート」を実施 19戸実施	研修会の開催時期については、受講者と協議し適切な時期を検討する。	A
3 経営参画と意識の向上	① 家族経営協定の推進 ・家族全員がお互いを尊重して対等な立場で、農業経営面や生活面を話し合う家族経営協定を推進します。	①各関係機関と連携し、引き続き家族経営協定の周知 ・ 市ホームページで情報発信	引き続き、農業委員会と連携を図りながら周知を行っていく。	A			
土づくり	1 農作物の安定生産	① 輪作体系及び環境保全型農業の確立 ・根菜類・野菜・緑肥作付けによる輪作体系の確立を推進します。 ・土壌分析による施肥設計や化学肥料・化学合成農薬を低減するなど、地球温暖化防止等の取り組みを推進します。 ・耕畜連携などによる地域資源循環を推進します。	①寒冷地域での輪作体系上、欠くことのできないてん菜・馬鈴薯の生産振興 ・ 甜菜作付振興事業 13,204千円 補助 ・ 種子馬鈴薯採取圃設置事業 693千円 補助	甜菜は、交付金単価の見直しや肥料の高騰などにより、作付面積の減少が懸念されることから、引き続き、各関係機関と連携する中で作付振興を推進していく。 種子馬鈴薯は、市内で馬鈴薯作付け分の種子が十分に確保できていないことから、引き続き、各関係機関と連携する中で作付振興を推進していく。	A	・甜菜作付振興事業 ・種子馬鈴しょ採取圃設置事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業	
			②経営所得安定対策等直接支払交付金の活用 ・ 交付総額 6,800,314千円(年明け数量払除く)	水田活用交付金見直しに伴う畑地化促進事業を適切に活用しながら、継続して支援を行っていく。	A	・中山間地域等直接支払交付金事業	
			③環境保全型農業直接支援交付金を活用したクリーン農業の推進 ・ 実施面積 353.83ha ・ 交付総額 21,558千円	昨年度(16軒)に比べ取り組む農業者増加(20軒)し、次年度もさらに増加する見込み(3軒)である。引き続き周知を行っていく。	A		
			④中山間地域等直接支払交付金を活用した堆肥利活用の推進 ・ 堆肥施用事業の実施(中山間農業・農村活性化事業) ・ R5実績:22,308.97t	運送業者が限られており、繁忙期に依頼した場合、堆肥を届ける時期が遅くなる事が懸念される。	A		
			⑤地域資源循環システム構築に向けて関係機関と検討 ・ JA北ひびきが新たなスクリュウ式攪拌機を導入したことに伴い、堆肥の処理・製造能力が向上し、安定的な堆肥の供給体制が整備されたことで、耕畜連携による地域資源循環に寄与した。	引き続き関係機関と連携を図っていく。	A		

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	主な取り組み《令和6年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業評価	備考 (主な関連事業)			
収量アップ	1 生産基盤の整備による安定的な農作物生産の確立	① 区画整理や暗渠排水、用排水施設の計画的・持続的な整備 ・国や道、関係機関と連携し、引き続き土地改良事業等による生産基盤の整備を推進します。 ・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用し、各地区の集落や活動組織が主体的に取り組む、軽微な基盤整備や用排水路の補修等の共同取組を推進します。 ・集中豪雨の激甚化や頻発化に対応するため、農業水利施設の適正な管理を支援します。	①道営中士別地区農地整備事業による大区画化や暗渠排水の整備等の総合的な推進 ・ 中士別第1～3地区 施工面積58.2ha ②中山間地域等直接支払交付金を活用し、士別市集落及びあさひ集落が取り組む、軽微な暗渠排水の整備等の基盤整備を支援 ・ 暗渠排水管敷設事業の実施(中山間農業・農村活性化事業) ・ R5実績:士別31,577m、朝日1,673m 計33,250m ③多面的機能支払交付金を活用し、各地区の活動組織が取り組む用水路の補修等を支援 ・ 対象農用地総面積 10,540ha ・ 田んぼダムの実施 ・ 交付総額 224,864千円 ④農業水利施設の適正な維持管理への支援 ・ 水利施設管理強化事業により土地改良区の管理体制の整備を図る経費の支援を実施。	引き続き、道営農地整備事業の推進に向け、受益者の負担軽減を図っていく。 生産基盤の整備による農産物の品質・収量の向上が重要であることから今後も推進していく。 いずれの活動組織も用水路の補修や整備など、安定的な農作物生産の確立のため、実施している。 引き続き、土地改良区が管理する農業水利施設の複雑かつ高度な操作・管理を支援していく。	A A A A	・農業農村整備促進費活用事業 ・中山間地域等直接支払交付金事業 ・多面的機能支払事業 ・天塩川地区水利施設管理強化事業		
		② 作業の効率化・省力化に向けたスマート農業の推進 ・農作業の効率化や省力化等に対応したICT(情報通信技術)等のスマート農業の促進に向けて、国や道、各関係機関と連携した支援を推進します。 ・中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用し、各地区の集落や活動組織が取り組む、農作業省力化等の共同取組を推進します。	①国や道の補助制度等を活用した支援 ・ GPSガイダンス活用面積 7,156ha ・ 水管理システムの設置(令和5年度実績:1台) ・ スマート農業促進に関する機械導入の補助事業を推進。(4件 67,035千円) ②中山間地域等直接支払交付金を活用し、士別市集落及びあさひ集落が取り組む、農作業省力化の取り組みを支援 ・ 法人あさひ運営補助 ・ 無人ヘリコプター等散布防除事業の実施(中山間農業・農村活性化事業)7,793ha ③多面的機能支払交付金を活用し、活動組織が取り組む農作業省力化の取り組みを支援 ・ 水管理システムは、毎年新規設置されており、拡大している。 ・ 灌がい施設等周辺の草刈りにおいて、トラクター装着の草刈機を使用し省力化を計った。 ・ 対象農用地総面積 10,540ha ・ 交付総額 224,864千円 ④各関係機関との連携によるスマート農業の推進 ・ 農業者に対して、JAと連携する中、スマート農業促進に関する国・道の補助事業の周知を図った。	引き続き、国や道、各関係機関と連携した支援を推進します。 農業者の高齢化、担い手不足に伴い、時間の短縮や労働力の軽減が重要であることから今後も推進していく。 多面的の担当者会議において、今後も推進していく。 引き続き、関係機関と連携した支援を推進していく。	A A A A	・経営体育成交付金事業 ・中山間地域等直接支払交付金事業 ・多面的機能支払事業		
			2 農作物の栽培技術の向上・野生動物による食害防止	① 栽培技術等の普及・推進 ・関係機関と連携し、農作物栽培試験に関する各種取り組みの実施により、栽培技術の普及を推進します。 ・各関係機関と連携し、病害虫対策を推進します。 ・農業応援アドバイザーを活用し、営農技術等の向上を図ります。 ・つくも4号大豆の安定した生産体制の維持、普及推進を図ります。	①農作物栽培試験の実施及び成果報告会の開催、栽培試験結果をまとめた冊子の配布 ・ 水稻、畑作、園芸に関する栽培試験を実施(8項目) ・ 栽培試験成績書をJA機関誌と合わせて配布予定(令和6年2月末700部納品予定)	成果報告会の単独開催では集客が見込めず、開催を見送った。次年度以降も開催を含め検討する必要がある。	B	・農作物栽培試験・栽培技術向上推進事業
					②ジャガイモシストセンチュウ食物検診の実施・市民等への周知 ・ 7月26日に一部の地区で植物検診を実施した。 ・ 市HPや広報を活用し、まん延防止対策の周知を行った。	引き続き、検診を実施して早期発見に努める。	A	
	③士別市農業応援アドバイザーの活用 ・ 市内一円のは場を対象とした作況調査及び報告会を実施(8月 農業委員会と共同開催) ・ 士別市農作物栽培試験運営協議会に招き、試験内容等への提言を頂く ・ [羊]アドバイザーによる市内農家への巡回指導(5月、12月)及び講習会の開催(12月)				士別市農業応援アドバイザーである田中英彦先生は、拓殖短大の学長であることから、今後は市と拓殖短大との包括連携協定を締結し、幅広い分野で連携を図る。	A		
	④つくも4号大豆種子の生産、市内外へのPR ・ 種子大豆の生産(作付農家1戸、作付面積0.3ha、収量990kg(調整前)) ・ 士別ビートまつりの販売ブースに、つくも4号を使用した菓子を販売(8月) ・ 東京ギフトショーにてソイフードマイスターと連携して、つくも4号をPR(R6年2月開催)				需要が少しずつ増加する中、産地として原料を安定供給することが最も重要であることから、引き続き関係機関と連携を図りながら推進していく。	B		

第4次 士別市農業・農村活性化計画(令和4年度～令和7年度)における推進事項や主な取り組みに関する評価

資料2

項目	推進事項	主な取り組み《令和6年2月1日時点における実績又は見込み》	今後に向けた課題・改善点など	事業評価	備考 (主な関連事業)
2 農作物の栽培技術の向上・野生動物による食害防止	② 鳥獣による食害防止 ・各関係機関と連携し、鳥獣による食害防止を実施します。 ・各関係機関と連携し、捕獲従事者担い手対策を推進します。	①中山間地域等直接支払交付金の活用(エゾシカ) ・エゾ鹿等簡易防護柵設置事業の実施(中山間農業・農村活性化事業) ・更新27件	近年多発するエゾ鹿等の食害を防止するため、引き続き推進していく。	A	・中山間地域等直接支払交付金事業
		②国の補助事業を活用し、緊急捕獲活動を実施(エゾシカ) ・1月末時 約900頭捕獲(計画頭数1,200頭)	引き続き、国の補助事業を活用し、緊急捕獲活動を実施する。	A	・有害鳥獣被害防止対策事業
		③箱わな捕獲(ヒグマ) ・箱わな2頭捕獲 ・4箇所設置	引き続き、ヒグマによる農作物被害等の防止のため、随時箱わなを設置する。	A	
		④捕獲者に対する奨励金制度の活用(ヒグマ) ・44頭捕獲(内、箱わな捕獲2頭) ・2,200,000円交付(50,000円/頭)	引き続き、ヒグマの捕獲者に対し、奨励金を交付する。	A	
		⑤春捕獲の推奨(アライグマ) ・4月～6月:74頭捕獲(参考…R4.4月～6月捕獲頭数:82頭) (R4年度捕獲頭数280頭、R5.12月末時捕獲頭数310頭)	引き続き、アライグマ捕獲講習会を開催し、防除従事者の確保を図り、春捕獲の推奨などにより農作物被害等の低減を図る。	A	
		⑥狩猟免許取得費用の支援(鳥獣全般) ・実績なし(助成に係る周知については、広報・ホームページに掲載) ・周知をきっかけとした、狩猟免許取得者1名(今後、助成金申請予定)	引き続き、広報やホームページ等により狩猟免許取得費の支援等を周知し、捕獲従事者の担い手確保に努める。	B	
		⑦鳥獣被害対策実施隊による一斉捕獲(エゾシカ) ・2月中に3回実施予定	引き続き、国の補助事業を活用し、鳥獣被害対策実施隊による一斉捕獲を実施する。	A	
3 収益力・生産基盤の強化による畜産経営基盤強化	① 規模拡大・施設更新・家畜伝染病対策の推進 ・畜産(酪農・肉牛・養豚・馬・鶏・めん羊)農家の規模拡大・施設更新に向けた取り組みを推進し、生産基盤の強化を目指します。 ・畜産農家の家畜伝染病予防対策意識向上を目指した取り組みを推進します。	①畜産クラスター事業等を活用した施設整備及び機械導入の推進 ・畜産クラスター事業(飼料増産優先枠)を活用した機械導入の補助 ・国庫補助事業を活用した子実用とうもろこし生産振興に関する取組の支援	市単費事業により畜産農家支援も行ったところだが、以前として生産コスト高騰の影響が大きいいため、引き続き経営基盤強化に取り組む必要がある。	A	・畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業
		②サフォーク種めん羊生産基盤整備事業等を活用した施設整備及び機械導入の推進 ・R5 補助実績無し ・新規就農に向けためん羊の営農類型作成協議の実施(協議中)	畜産情勢の悪化により規模拡大・新規就農が難しい情勢であるが、「羊のまち士別」推進のため引き続き取組を推進する	B	・予防注射事業
		③飼養衛生管理基準の遵守に向けた指導体制の強化 ・飼養衛生管理基準に関する上川家畜保健衛生所による巡回調査への協力 ・必要に応じた家畜伝染病等に関する情報提供	引き続き酪農・畜産農家の防疫意識向上に向けた取組を推進する	A	・めん羊振興事業
	② 自給粗飼料生産拡大の推進 ・各種事業を活用し、自給粗飼料生産基盤の強化を図ります。	①草地畜産基盤整備事業の推進 ・R5年度事業の円滑な推進(R5年度実績 34.56ha施工) ・事業計画期間(R4～7)内の事業計画精査・聞き取りの実施	事業目的である「自給粗飼料基盤の改善」に向けて、引き続き円滑な事業運営を進めていく	A	・畜産担い手総合整備事業

「持続可能な生産体制の確立」を達成するための数値目標

目標	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
新規就農者確保数	延:20人	5人	7人	5人	10人	5人	5人
排水性向上対策(暗渠施工延長)	延:220,000m	55,000m	125,146m	55,000m	85,630m	55,000m	55,000m
土づくり対策(堆肥・緑肥施用面積)	延:9,200ha	2,200ha	2,098ha	2,300ha	1,703ha	2,300ha	2,400ha
GPSガイダンス活用面積	延:23,760ha	5,730ha	6,469ha	5,870ha	7,156ha	6,010ha	6,150ha

評価項目	評価事業数	割合
A評価	45	90.0%
B評価	4	8.0%
C評価	1	2.0%
D評価	0	0.0%
合計	50	100.0%

# 令和6年度 農林業関連予算概要



【令和6年2月】

【農業振興課所管】

1	<b>農業農村担い手支援事業</b>	予算額	<b>6,034千円</b>
		主な財源	士別市負担 6,034千円
		R5予算額	6,445千円
【主な事業概要】 農業の担い手の確保と育成を図るため、農業・農村担い手支援規則に基づく支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>就農研修期間助成事業 1,200千円</li> <li>新規就農者等経営規模拡大支援助成事業 2,623千円</li> <li>就農啓発事業 71千円</li> <li>受入農家協議会支援事業 1,780千円</li> <li>農業人口減少対策における調査研究事業 100千円</li> </ul>			
2	<b>農作物栽培試験・栽培技術向上推進事業</b>	予算額	<b>2,098千円</b>
		主な財源	士別市負担 2,098千円
		R5予算額	2,189千円
【主な事業概要】 JA北ひびきへの委託で、展示圃、実証試験圃を設置し、水稻・畑作・園芸等の各種試験を行い、生産者へ新品種や新栽培技術の普及指導等を図る。また、つくも4号の安定供給に向けて取り組みを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>農作物栽培試験及び栽培技術向上推進委託料 1,100千円</li> <li>拓殖短期大学講師謝礼 90千円</li> </ul>			
3	<b>グリーンパートナー推進事業</b>	予算額	<b>617千円</b>
		主な財源	士別市負担 617千円
		R5予算額	717千円
【主な事業概要】 農業後継者の配偶者確保対策として、市、農業委員会及び農協のJA北ひびきのもと、独身女性との交流の場を設け、結婚に対する意識高揚を図る。			
4	<b>農業次世代人材投資事業</b>	予算額	<b>12,450千円</b>
		主な財源	国・道負担 12,450千円
		R5予算額	12,450千円
【主な事業概要】 次世代を担う農業者となることを志向する者に対して、国の新規就農者育成総合対策による農業次世代人材投資事業を活用し、担い手の確保・育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>経営開始資金：対象者7人</li> </ul>			
5	<b>令和3年干ばつ等農業対策事業</b>	予算額	<b>22千円</b>
		主な財源	士別市負担 22千円
		R5予算額	29千円
【主な事業概要】 令和3年の干ばつ等で被害を受けた農業者が、経営の再建や減少した収入の補填のため、JA北ひびきから借り入れた資金の利子助成をする。			
6	<b>甜菜作付振興事業</b>	予算額	<b>42,923千円</b>
		主な財源	起債 30,000千円
		R5予算額	20,277千円
【主な事業概要】 寒冷地域の基幹作物である甜菜の安定的な生産振興を図るため、生産農家に対し支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>甜菜作付作業受委託促進事業 7,625千円</li> <li>甜菜作付機械化促進事業 1,782千円</li> <li>生産確保支援対策事業 5,400千円</li> <li>甜菜肥料価格高騰対策事業 27,500千円</li> <li>(仮称)士別市砂糖消費拡大推進委員会補助金 300千円</li> </ul>			
7	<b>種子馬鈴薯採取圃設置事業</b>	予算額	<b>1,080千円</b>
		主な財源	士別市負担 1,080千円
		R5予算額	960千円
【主な事業概要】 寒冷地域の基幹作物である馬鈴薯の安定的な生産振興を図るため、種子馬鈴薯の生産を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>原種の購入価格に対して3/10以内を補助（上限9,000円/10a）</li> <li>新規生産者は当初作付けから3年間に限り原種の購入価格に対して4/10以内を補助</li> </ul>			







【続・畜産林務課所管】

	<b>森林整備促進事業</b>	予算額	<b>35,459千円</b>	
		主な財源	士別市負担	35,459千円
		R5予算額	35,755千円	
8	<b>【主な事業概要】</b> 「森林環境譲与税の活用に向けた基本方針」に基づき適切な森林整備を促進する。 ・ 森林経営管理制度に基づく森林整備に係る現地調査等 2,000千円 ・ 造林公共事業に係る上乘せ補助 5,092千円 ・ 造林公共事業以外に係る補助 10,129千円 ・ 森林整備担い手対策 2,500千円 ・ 高性能林業機械等の購入に係る補助 15,000千円			
	<b>森林環境保全整備事業</b>	予算額	<b>14,997千円</b>	
		主な財源	国・道負担	4,660千円
		R5予算額	22,205千円	
9	<b>【主な事業概要】</b> 市有林の健全な維持造成を図り、森林資源の充実と山村地域の振興に資する。 ・ 保育 (23.13ha) 2,300千円      ・ 植栽 (13.30ha) 7,500千円      ・ 根踏 (15.82ha) 650千円 ・ 搬出運搬・販売業務委託 (銘木市) (単独) 137.96㎡ 4,053千円 ・ 市有林管理 (単独) 494千円			